

第2回 熊本都市道路ネットワーク検討会 ＜議事概要＞

1. 規約改正（案）の承認
2. シンポジウム開催とアンケート調査の報告
3. 将来道路ネットワークの創造と役割（案）
4. 議事のまとめ
 - 将来道路ネットワークの創造と役割について、熊本市の将来ビジョンの共有が図られた。

（委員の主な意見）

ビジョンに関すること

- 空港から中心部を何分で繋ぐなど、市民に伝わりやすい数値目標を掲げるべき。
- 短期、中期、長期の取り組みを示すことは非常によい。
- 渋滞対策には立体化や国道3号の高架化が有効。
- 自然災害が多く、白川のはん濫などを考えると高架化が必要。
- 熊本地震を経験しており、災害時の都市間連絡の必要性は高い。
- 高速道路のトラック走行が近年増えており、ダブル連結トラックなどを一般道路でどう対処していくか、物流面の課題がある。
- 熊本空港から中心部へのアクセス性も重要だが、熊本港へのアクセス性も意識すべき。
- 市民生活の目線も重要だが、物流や観光の目線も大切、経済面の支えとなるような視点も必要。
- MaaSなどが進む中、移動の選択肢を増やすことが大事。
- 観光面では、市内の交通混雑で時間が読めないため旅行会社が敬遠していることを意識すべき。

全体に関すること

- 鉄軌道による空港アクセス延伸と道路の役割分担が必要。
- バス無料化社会実験の結果を検討会の中で紹介いただきたい。
- 長期的なハード整備だけではなく、ソフト対策もしっかりと進めて行く。

(今後の進め方)

- 今後は、第2回検討会での委員意見をふまえ、熊本市の道路将来ビジョンを具現化する検討を進めることとし、次回の検討会は年末を目処に開催する。
- 本日の熊本市の道路将来ビジョンについては、熊本県幹線道路協議会と共有を図るものとする。